

第4章 計画の推進に向けて

1 計画推進のための各主体の役割

多様化する市民ニーズにきめ細かく対応していくためには、公的な子育て支援サービスの充実のみならず、親自身が子育てについての責任を持つという基本的な認識のもと、市民や地域、子育て支援にかかわる団体、企業と協働していく必要があります。

1. 家庭の役割

家庭は子どもが初めて人とふれあう場であり、生まれ育つ基本的な場であることから、思いやりや自主性、責任感などをはぐくむ家庭機能の充実を図ることが必要です。また、親自身も子育ての中で成長していけるよう、地域の人々や団体、行政が相互に助け合える人間関係の形成に努めることが必要です。

2. 地域の役割

地域はそこに住むすべての人々が健全な生活を営んでいくための場であることから、隣近所との交流を深め、さらに地域の組織・団体が相互の連携を強め、共に支えあい、地域住民が子育てのための支援活動に積極的に取り組むことが必要です。

3. 学校の役割

学校は子どもが成長する過程で、人とのかかわりの中で人格を形成する、極めて大きな役割を果たす場であることから、子どもが豊かな人間性や社会性をはぐくむことができるよう、家庭や地域との連携をより深めることが必要です。また、多様な体験を通じて「子どもが生きる力」、「子ども自身が育つ力」をはぐくむ教育の推進に努めることが必要です。

4. 事業所等の役割

事業所等は各家庭の生活を支える重要な場であることから、核家族化や共働き世帯が増加する中で、子育てと仕事を中心とした家庭生活との調和を確保するため、就業に関する環境や条件の整備、制度の検討などを積極的に推進し、子育てにやさしい環境づくりに向けた活動を展開することが必要です。

5. 行政の役割

行政は、市民の求めるニーズを把握し、それに基づき事業を取り組んでいくものであることから、十分な情報収集や情報発信を行うとともに、整合性をもって取り組みが進められるよう各担当課が連携を図り、地域の実情に応じて効果的な施策の推進を図る必要があります。

2 計画の進行管理

子育て支援施策・事業の実効性を確保するよう、関係機関・団体などの連携による施策・事業の進捗状況や効果的な事業内容の検討などを行うため、前期計画に引き続き、後期計画についても市民の代表や学識経験者、関係機関からなる「江南市次世代育成支援推進協議会」において、施策・事業の進行管理を行うとともに、その状況などについて市民に情報公開します。

3 市民参加の推進

計画推進のためには、保育園及び幼稚園、小・中学校並びに企業や行政だけでなく、地域全体で子育て支援・子どもの健全育成に取り組む必要があります。それらにかかる意識啓発を行い、家庭、地域でできることから積極的に子育て支援や子どもの健全育成を推進していく必要があります。市民と行政、団体、そして地域が連携して、よりよい子育ての環境づくりを推進します。

4 庁内推進体制の充実

きめ細かな子育て支援サービスを提供するためには、行政内部の関係部門が連携し、子育て支援施策・事業を総合的に推進していく必要があります。

このため、庁内の関係部門による、「江南市次世代育成支援推進委員会」で、関係施策・事業の進行管理を行うとともに、それぞれの子育て支援事業の中で市民の声を把握し、今後より一層多様化するニーズに対応できるよう調査研究を進めていきます。

